



いのちとくらしをまもる
防災減災

岩手山における火山観測体制を強化します

仙台管区気象台では、岩手山で山体膨張を示す地殻変動が観測されていることから、火山観測機器を増設して観測体制の強化を図ります。

1 光波測距

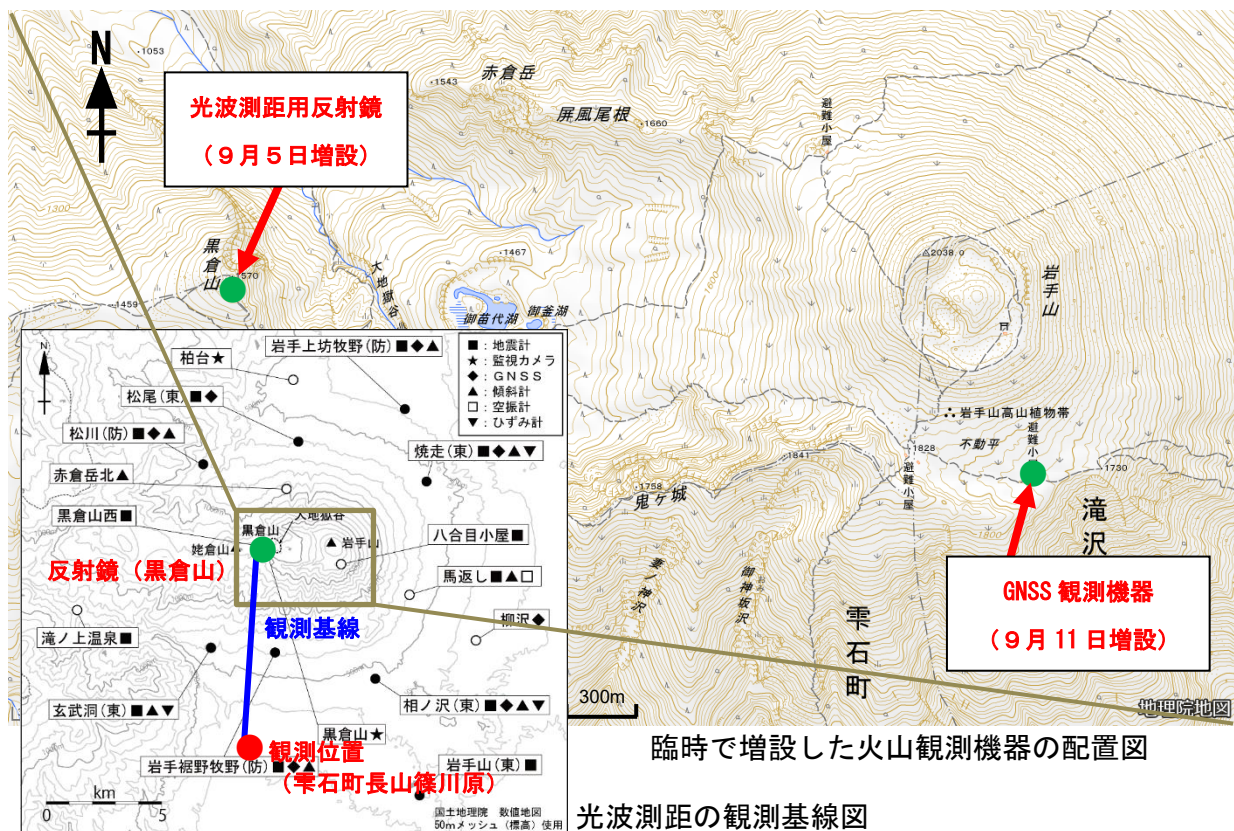
黒倉山山頂に光波測距用反射鏡を増設し、5日から運用を開始しました。

※光波測距：光波（レーザー）を利用し、遠隔に設置した光波距離計と反射鏡との間の距離を測定する手法。山体の膨張や収縮による距離の変化を観測する。

2 GNSS 観測

八合目避難小屋に GNSS 観測機器を増設し、11日から運用を開始しました。

※GNSS 観測機器：衛星による測位観測を行い、近傍の観測点との基線長を解析することにより、火山活動に伴う地殻変動を監視する機器。GNSS とは全球測位衛星システム（Global Navigation Satellite Systems）の略称。



臨時で増設した火山観測機器の配置図

光波測距の観測基線図

【問合せ先】

仙台管区気象台 気象防災部 地域火山監視・警報センター

電話：022-291-5683

臨時で増設した火山観測機器（写真）

1 光波測距用反射鏡



2 GNSS 観測機器

